

日本工学院八王子専門学校	開講年度	2019年度(平成31年度)	科目名	イラストレーション実習1	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	グラフィックデザイン科	コース名		開設期	前期
対象年次	2年次	科目区分	選択	時間数	60時間
単位数	2単位	授業形態	実習		
教科書/教材	参考作品・参考資料等は、授業中に配布、掲示する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	飯島 章嘉	実務経験の有無・職種	有・イラストレーター		
<b>学習目的</b>					
<p>近年需要が増しつつあるコンセプトアートを中心としたデジタルゲームのビジュアルデザイン、アニメーション美術設定画など、従来手描きの絵として表現されていたものが、現在は2DCGとしてデジタル描画が中心となっている。その現状で、ソフトウェアを柔軟に使いこなし、なおかつ画力に優れた作品が描ける人材が以前にも増して求められている。それをふまえてPCによる描画、データ作成および管理能力を身につけることがこの授業の目的である。また写実的な絵としての完成度を高める上でのデッサン力、色彩感覚の向上は必須で、いかなる条件にも対応できる高い技術力を持つことがねらいである。</p>					
<b>到達目標</b>					
<p>身につけたいスキルは次の通りである。学生が2DCG制作のためのソフトウェアに習熟し、柔軟に自らの構想に沿った描画ができること。制作したデータをクライアントとのやり取りにおいて適切に管理できること。写実的な描画ができること。そのための基礎的な画力、つまり立体感の表現、パースペクティブの習得、質感の表現などを習得することを目標としている。つまりPCソフトのリテラシーと写実描写の技術とアートとしての制作物を創造する美的感受性を得ることができる。</p>					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	<p>授業はPC、ペンタブレットなどを用い、描画ソフトで課題を制作する。課題はキャラクターのデザイン、着色をまず実習するが、PCによるデッサンと模写に力を入れる。デッサンは自分の扱う描画ツールとしてのPCソフトに慣れることと物体を見る目を養うために重要である。模写は近年、独創性重視の美術教育の中では軽視されがちであるが、描写技術を学ぶためにはこの方法がもっとも早く、なおかつもっとも効果的なのである。</p>				
注意点	<p>画力を向上させるには、自分には何が目標と方法を自覚することが必須である。そのためには、自作すること、デッサンすること、模写すること、この3つの練習を交互に繰り返し行うことが重要である。ただ、授業ではそのことを方法として知る所まで、時間は足りない。この練習に何時間費やしたかが技術向上の最善の道と知り、日々刻刻を練習に充てる心構えていて欲しい。なお授業時数の4分の3以上出席しない者は課題提出とプレゼンテーションの実施ならびに評価を受けることができない。</p>				
評価方法	種別	割合	備 考		
	課題完成度	50%	提出課題の完成度を評価する		
	リサーチ	30%	制作準備と過程を評価する		
	平常点	20%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画(1回～15回)</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	ガイダンス、作品鑑賞、CG概要	多様な作品を鑑賞することによって2DCGの概念と可能性が理解できる			
2回	キャラクター制作①着色	イラストの着色を通して、CGの作成方法、CGデータの管理法を知ることができる			
3回	キャラクター制作②デジタルゲーム(1)	ゲーム設定を理解しメディアの特性を生かしたキャラクターをイメージできる			
4回	キャラクター制作②デジタルゲーム(2)	自分のイメージに沿ってデザインし、線画を描くことができる			
5回	キャラクター制作②デジタルゲーム(3)	設定に沿いながら自身の個性が発揮された好ましいキャラクターとして2DCGデータを完成できる			
6回	キャラクター制作②講評(4)	自分の能力の特性や長所を知り、補うべき短所を知ることができる			
7回	デッサン① 幾何形体	立体の描写ができる パース感覚が養える			
8回	デッサン② 身近なもの	空間の把握と質感の描写ができる			
9回	自然を描く① 空を表現する(1)	写真などを参考にし、自然物、ことに雲など不定形なものが描ける			
10回	自然を描く① 空を表現する(2)	自然の多様性を理解し、美しく描写できる			
11回	自然を描く② 山と湖の模写(1)	模写する対象物を分析することができる。空を描くことができる			
12回	自然を描く② 山と湖の模写(2)	遠景の山々を描写できる			
13回	自然を描く② 山と湖の模写(3)	中景の山と湖を描写できる			
14回	自然を描く② 山と湖の模写(4)	近景の木々や茂みを描写できる			
15回	自然を描く② 山と湖の模写(5) 講評	自分の能力の特性や長所を知り、補うべき短所を知ることができる			